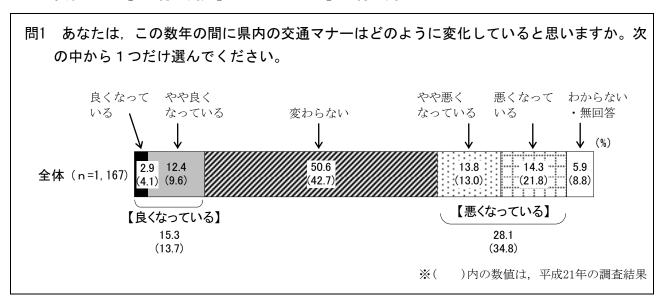
X 交通マナー

1. 県内の交通マナーの状況

―「変わらない」が約5割、【悪くなっている】が約3割―



県内の交通マナーの状況については、「良くなっている」(2.9%)と「やや良くなっている」(12.4%)を合わせた【良くなっている】(15.3%)は、1割台半ばとなっている。一方、「やや悪くなっている」(<math>13.8%)と「悪くなっている」(14.3%)を合わせた【悪くなっている】(28.1%)は、約3割となっている。

前回調査に比べると、「変わらない」が約8ポイント増加し、【悪くなっている】は約7ポイント減少している。

―【悪くなっている】は県西以外の地域で3割前後―

地域別でみると、【悪くなっている】は、県西 (20.6%) で約2割と最も低く、それ以外の地域では3割前後となっている。一方、【良くなっている】は、鹿行 (20.0%) と県西 (18.7%) で2割前後と比較的高くなっている。

市郡別でみると、【悪くなっている】は、すべての層で3割前後となっている。

性別でみると、【良くなっている】は、男性(18.8%)が女性(12.1%)よりも約7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【悪くなっている】は、男性の20代(40.0%)で4割と最も高く、男性の40代(36.2%)と女性の60代(34.8%)で3割台半ばとなっている。一方、【良くなっている】は、男性の70歳以上(27.4%)で約3割と高くなっている。

職業別でみると、【悪くなっている】は、すべての職業で3割前後となっている。一方、【良くなっている】は、農林漁業 (24.1%)、その他の無職 (22.2%)、商工サービス業 (20.3%) で2割を超えて高くなっている。

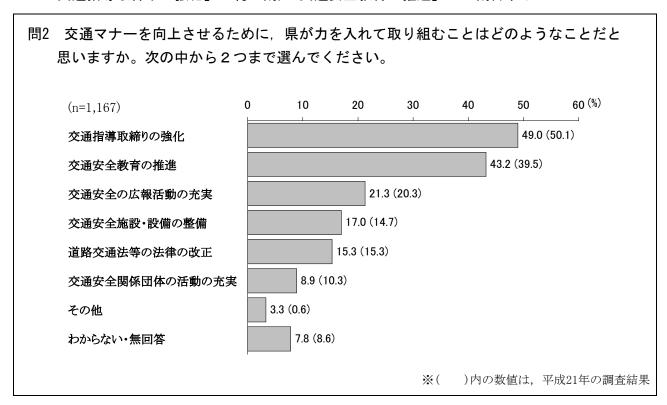
図X 1-1 県内の交通マナーの状況(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)

			良くなっ ている n	やや良く やや悪く 悪くなっ わから なっている 変わらない なっている ている $=$ $=$ $=$ $=$ $=$ $=$ $=$ $=$ $=$ $=$	【良くなっ ている】 計	【悪くなっ ている】 計
地域別		県北	(268) 0 .	11.6	12. 3	30.6
	県央		(197)	13.2 15.2 15.2 14.2 5.1	14. 7	29. 4
	鹿行			4 15.6 22.2 4.4	20.0	30.0
	県南		(393)	11.5	14.8	29. 5
	県西		(219)	5.5 13.2 8.7 11.9 4.1	18. 7	20.6
市郡別	人口10万人以上の市		(565) 2	12.2 12.7 14.9 52.2	14. 5	27.6
	人口5万人以上の市		(336)	12.8 12.5 114.9 6.5	15.8	27. 4
	人口5万人未満の市		(165)	6 13.9 43.6 6.7	17. 5	32. 2
	郡部		(101)	0 9.9 18.8 7.9 4.0	14. 9	26. 7
性別	男性		(569)	7 15.1 49.2 3.2	18.8	28. 9
	女性		(598) 2	9.9	12. 1	27. 4
		20~29歳	(40)	7.5	7. 5	40.0
		30~39歳	(72) 1	16.7 56.9 6.9 8.3 9.7	18. 1	15. 2
性・年齢別	男	40~49歳	(94)	10.6 47.9 0.0	15. 9	36. 2
	性	50~59歳	(123) 1 .	6 17.1 2.4	18. 7	29. 3
		60~69歳	(145)	.8 13.8 16.6 15.9 0.7	18. 6	32. 5
	70歳以上		(95)	21.1 46.3 9.5 ···11.6··· 5.3	27. 4	21. 1
		20~29歳	(51) o.	5.9 9.8 1.19.6 13.7	5. 9	29. 4
		30~39歳	(73) 2	6.8 13.7 - 9.6 11.0	9. 5	23. 3
	女	40~49歳	(118)	10.2	13. 6	25. 5
	性	50~59歳	(137)	8.0	8. 7	24.8
		60~69歳	(138)	12.3 20.3 14.5 4.3	15. 2	34. 8
		70歳以上	(81)	13.6 49.4 9.9 17.3 17.3 9.9	16. 1	24. 7
職業別	農林漁業		(54) 1	9 22.2 22.2 1.9	24. 1	31. 5
	商工サービス業		(133)	3.0	20. 3	28. 6
	自由業		(17)	5.9 5.9 5.9	11.8	23. 6
	管理職		(61)	18.0	18. 0	29. 5
	事務職・専門技術職		(267) 1	11.2 10.9 16.5 4.1	12. 7	27. 4
			(135)		16. 3	28. 1
	学生		(10)	20.0 00.0	0.0	60.0
	主婦		(279) 1	7.2	8.6	27.3
	その他の無暗		(207)	16.9 43.5 7.2	22. 2	27. 0

(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

2. 交通マナー向上のために県が取り組むべきこと

―「交通指導取締りの強化」が約5割、「交通安全教育の推進」が4割台半ば―



交通マナー向上のために県が力を入れて取り組むべきこととしては、「交通指導取締りの強化」 (49.0%)が約5割と最も高く、次いで、「交通安全教育の推進」(43.2%)が4割台半ば、「交通 安全の広報活動の充実」(21.3%)が2割台、「交通安全施設・設備の整備」(17.0%)と「道路交 通法等の法律の改正」(15.3%)が1割台で続いている。

前回調査と比べると,「交通安全教育の推進」が約4ポイント増加している。

―「交通指導の取締りの強化」は鹿行で5割台半ば―

地域別でみると、「交通指導取締りの強化」は、鹿行(54.4%)で5割台半ばと最も高く、県北(50.0%)、県央(49.2%)、県南(50.9%)で5割前後となっている。「交通安全教育の推進」は、 県西(37.4%)以外の地域で4割台半ばとなっている。

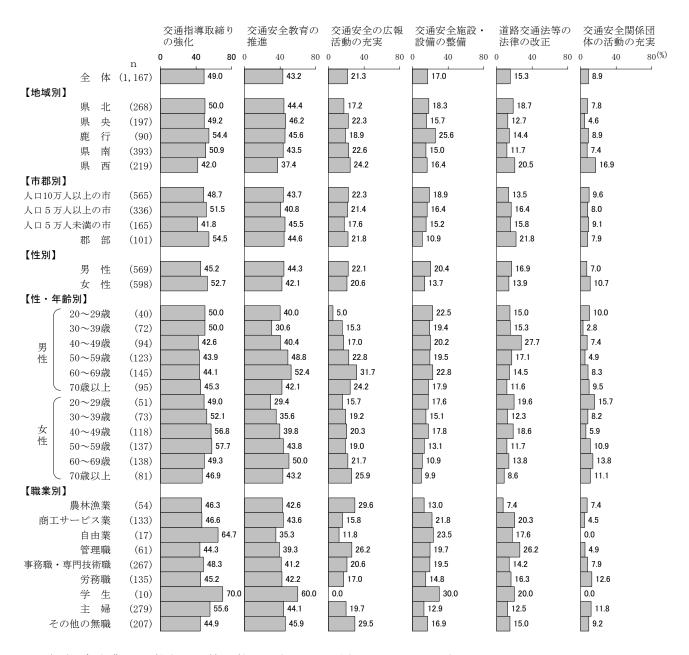
市郡別でみると、「交通指導取締りの強化」は、郡部(54.5%)で5割台半ばと最も高く、人口10万人以上の市(48.7%)と人口5万人以上の市(51.5%)で5割前後となっている。「交通安全教育の推進」は、すべての層で4割を超えている。

性別でみると、「交通指導取締りの強化」は、女性(52.7%)が男性(45.2%)よりも約8ポイント高くなっている。一方、「交通安全施設・設備の整備」は、男性(20.4%)が女性(13.7%)よりも約7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「交通指導取締りの強化」は、女性の40代(56.8%)、50代(57.7%)で5割台半ばを超えて高くなっている。「交通安全教育の推進」は、男女の60代で5割を超えている。

職業別でみると、「交通指導取締りの強化」は、主婦(55.6%)で5割台半ばと高くなっている。

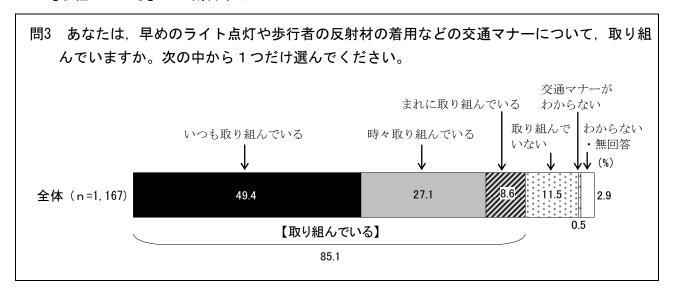
図X 2-1 交通マナー向上のために県が取り組むべきこと (地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

3. 交通マナーへの取り組み状況

―【取組んでいる】が8割台半ば―



交通マナーへの取り組み状況としては、「いつも取り組んでいる」(49.4%)、「時々取り組んでいる」(27.1%)、「まれに取り組んでいる」(8.6%)を合わせた【取り組んでいる】(85.1%)は、8 割台半ばとなっている。一方、「取り組んでいない」(11.5%)は、1割を超えている。

―【取組んでいる】はすべての地域で8割を超える―

地域別でみると、【取り組んでいる】は、すべての地域で8割を超えて高くなっている。

市郡別でみると、【取り組んでいる】は、人口5万人未満の市(90.9%)と郡部(90.0%)で約9割と高くなっている。

性別でみると、【取り組んでいる】は、男性(88.2%)が女性(82.1%)よりも約6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、【取り組んでいる】は、男性の20代(92.5%)と40代(93.6%)、女性の20代(90.2%)と30代(91.9%)で9割を超えているが、女性の70歳以上(56.8%)では、5割台半ばと最も低くなっており、「取り組んでいない」(32.1%)が3割を超えている。

職業別でみると、【取り組んでいる】は、管理職(91.7%)と事務職・専門技術職(90.7%)で 9割を超えているが、その他の無職(75.4%)では7割台半ばと低くなっている。

図X 3-1 交通マナーへの取り組み状況(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)

